

2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月4日

上場会社名 川崎汽船株式会社

上場取引所 東

コード番号 9107 URL <https://www.kline.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役 代表執行役社長 (氏名) 五十嵐 武宣

問合せ先責任者 (役職名) サステナビリティ・環境経営推進・IR・広報 (氏名) 藤村 雄二
グループ長 TEL 03-6865-2736

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	244,918	△8.5	19,842	△35.4	21,684	△71.0	29,947	△58.7
2025年3月期第1四半期	267,609	21.2	30,717	58.3	74,846	58.6	72,543	96.7

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △6,265百万円 (-%) 2025年3月期第1四半期 148,274百万円 (13.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	47.40	-
2025年3月期第1四半期	104.67	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	2,179,862	1,653,185	74.2
2025年3月期	2,210,049	1,677,449	74.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 1,616,656百万円 2025年3月期 1,648,434百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	-	50.00	-	50.00	100.00
2026年3月期	-	-	-	-	-
2026年3月期（予想）	-	60.00	-	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	489,500	△9.0	46,500	△23.9	67,000	△64.2	74,000	△59.6	117.11
通期	968,000	△7.6	90,000	△12.5	120,000	△61.1	115,000	△62.3	181.96

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 有

新規 1社 （社名）KLKGロジスティクスホールディングス(株)、除外 1社 （社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	639,172,067株	2025年3月期	639,172,067株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	7,077,834株	2025年3月期	7,511,366株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	631,769,213株	2025年3月期1Q	693,062,964株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

業績予想の前提につきましては、[添付資料] 4ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

2025年8月4日開催の決算説明会資料を、TDnetで開示するとともに、当社ホームページ上に掲載しています。

（当社（川崎汽船）ホームページ）

<https://www.kline.co.jp>

（株主・投資家情報）

<https://www.kline.co.jp/ja/ir.html>

（決算説明会資料）

<https://www.kline.co.jp/ja/ir/library/presentation.html>

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11
3. 補足情報	12
最近における四半期ごとの業績の推移（連結）	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

(単位：億円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	増減額 (増減率)
売上高	2,676	2,449	△226 (△8.5%)
営業損益	307	198	△108 (△35.4%)
経常損益	748	216	△531 (△71.0%)
親会社株主に帰属する 四半期純損益	725	299	△425 (△58.7%)

為替レート(円/US\$)(3ヶ月平均)	155.02	145.32	△9.70 (△6.3%)
燃料油価格(US\$/MT)(3ヶ月平均)	629	550	△79 (△12.6%)

当第1四半期連結累計期間(2025年4月1日から2025年6月30日まで)の売上高は2,449億円、営業利益は198億円、経常利益は216億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は299億円となりました。

なお、持分法による投資利益として72億円を計上しました。うち、当社の持分法適用関連会社であるOCEAN NETWORK EXPRESS PTE. LTD. (以下、「ONE社」という。)からの持分法による投資利益の計上額は36億円です。

セグメントごとの業績概況は次のとおりです。

(単位：億円)

		前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	増減額 (増減率)
ドライバルク	売上高	883	697	△186 (△21.1%)
	セグメント損益	71	△5	△76 (－%)
エネルギー 資源	売上高	256	236	△20 (△8.1%)
	セグメント損益	10	23	13 (125.4%)
製品物流	売上高	1,511	1,489	△21 (△1.4%)
	セグメント損益	654	243	△410 (△62.8%)
その他	売上高	24	26	1 (6.2%)
	セグメント損益	4	3	△1 (△20.6%)
調整額	セグメント損益	7	△48	△56 (－%)
合計	売上高	2,676	2,449	△226 (△8.5%)
	セグメント損益	748	216	△531 (△71.0%)

各セグメントの状況をより適切に表示させるため、一部の営業外収益及び営業外費用の配賦方法を変更しています。前第1四半期連結累計期間のセグメント情報につきましても、変更後の方法により表示しています。

①ドライバルクセグメント

[ドライバルク事業]

大型船市況は、鉄鉱石やボーキサイトの荷動きは堅調に推移したものの、一部積地での事故や労働争議発生等をきっかけに一時的に軟化しました。2025年6月前半には主要産地からの鉄鉱石出荷が強まり一時急回復を見せましたが、6月末にかけて再び軟調に転じました。

中・小型船市況は、穀物や鋼材等の荷動きに堅調さが見られた一方、石炭荷動きが低迷した影響で軟調に推移しました。

このような状況下、ドライバルクセグメントでは、市況エクスポージャーを適切に管理すると同時に運航コストの削減や配船効率向上に努めました。

ドライバルクセグメント全体では、前年同期比で減収となり、損失を計上しました。

②エネルギー資源セグメント

[液化天然ガス輸送船事業、液化ガス事業、電力事業、原油・製品事業、エネルギー事業戦略]

LNG船、LPG船、電力炭船、大型原油船、ドリルシップ（海洋掘削船）、FPSO（浮体式石油・ガス生産貯蔵積出設備）等は、中長期の傭船契約のもとで順調に稼働し、安定的に収益に貢献しました。

エネルギー資源セグメント全体では、為替影響等により前年同期比で減収となるも、一過性要因の解消等により増益となりました。

③製品物流セグメント

[自動車船事業]

世界自動車販売市場は、米国向け自動車への追加関税が発動されたものの、各国の底堅い需要に支えられ、総じて堅調に推移しました。また、中東情勢が緊迫したものの運航に大きな支障はなく、引き続き運航効率の改善に取り組みました。

[物流事業]

国内物流・港湾事業では、コンテナターミナル取扱量が前年同期比で増加しました。曳船事業の作業数及び倉庫事業の取扱量はそれぞれ堅調に推移しました。国際物流事業では、フォワーディング事業における海上・航空輸送需要は米国の関税政策の影響が懸念されましたが、半導体及び自動車関連をはじめ、概ね堅調に推移しました。完成車物流事業は、豪州各港での取扱量に影響を与える新車販売台数が高い水準で推移し、輸送台数、保管台数ともに堅調に推移しました。

[近海・内航事業]

近海事業では、バイオマス燃料やバルク貨物の輸送量が大幅に増加したほか、鋼材の輸送量も増加し、全体の輸送量は前年同期比で増加しました。内航事業では、フェリー輸送は概ね前年同期並みの輸送量となったものの、定期船輸送での食料品や工業品等の荷動きが低調に推移したため、輸送量は前年同期比で減少しました。不定期船輸送は、全体の輸送量が増加しました。

[コンテナ船事業]

コンテナ船事業では、米国の関税政策の影響で荷動きの大きな変動と平均運賃の低下がみられました。2025年4月には米国が相互関税を発表したことを受けて、関税発動前の駆け込み需要が発生しました。その後荷動きが一時的に鈍化しましたが、2025年5月に米中両政府が90日間の高関税停止措置に合意したことで、市場は再び堅調さを取り戻しました。荷動きの変動に対応するため、各船社が船腹供給量の調整を行った結果、北米航路以外の荷動きや運賃にも影響が及びました。その結果、当社持分法適用関連会社であるONE社の業績は、前年同期比で減収減益となりました。

製品物流セグメント全体では、前年同期比で減収減益となりました。

④その他

その他には、船舶管理業、旅行代理店業、不動産賃貸・管理業等が含まれており、当四半期業績は前年同期比で増収となるも減益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産の部は、投資有価証券の減少などにより前連結会計年度末に比べ301億円減少し、2兆1,798億円となりました。

負債の部は、長期借入金の減少などにより前連結会計年度末に比べ59億円減少し、5,266億円となりました。

純資産の部は、為替換算調整勘定の減少などにより前連結会計年度末に比べ242億円減少し、1兆6,531億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(中間連結会計期間)

(単位：億円)

	前回予想 (2025年3月期 決算発表時点)	今回予想 (2026年3月期 第1四半期決算発表時点)	増減額 (増減率)	
売上高	4,760	4,895	135	(2.8%)
営業損益	410	465	55	(13.4%)
経常損益	575	670	95	(16.5%)
親会社株主に帰属する 中間純損益	660	740	80	(12.1%)

	円 銭	円 銭	円 銭
1株当たり中間純損益	104.49	117.11	12.62

為替レート(円/US\$)	141.59	143.46	1.87	(1.3%)
燃料油価格(US\$/MT)	573	557	△16	(△2.8%)

(通期)

(単位：億円)

	前回予想 (2025年3月期 決算発表時点)	今回予想 (2026年3月期 第1四半期決算発表時点)	増減額 (増減率)	
売上高	9,500	9,680	180	(1.9%)
営業損益	800	900	100	(12.5%)
経常損益	1,050	1,200	150	(14.3%)
親会社株主に帰属する 当期純損益	1,000	1,150	150	(15.0%)

	円 銭	円 銭	円 銭
1株当たり当期純損益	158.31	181.96	23.65

為替レート(円/US\$)	140.79	141.73	0.94	(0.7%)
燃料油価格(US\$/MT)	574	566	△8	(△1.4%)

主に為替影響などにより、2025年5月7日発表の2026年3月期中間連結会計期間と通期の連結業績予想の売上高、営業損益、経常損益、親会社株主に帰属する中間（当期）純損益及び1株当たり中間（当期）純損益について修正します。

ドライバルクセグメントでは、米国政権による関税政策、中国経済の不透明感、ウクライナや中東での地政学的リスクの継続などの懸念要素があります。船型毎に差はあるものの、限定的な新造船竣工量を背景に中期的には船腹需給は引き締まる方向に向かうものと予想しており、振幅を伴いながらも全体として底堅く推移していくものと見込んでいます。

引き続き運航効率の改善とコスト削減等に取り組むとともに、環境対応への需要が強まるなか、高い輸送品質を生かし、中長期契約の上積みによる安定収益拡充と、適切かつ迅速なリスクコントロール下での収益最大化に努めます。

エネルギー資源セグメントでは、LNG船、LPG船、電力炭船、大型原油船、ドリルシップ、FPSO等において、中長期契約に支えられて順調な収益の推移を見込んでいます。引き続き安定収益の確保に努めます。

製品物流セグメントでは、自動車船事業において、米国の関税政策等の影響による米国内の自動車需要の減退が予想され、それに伴う米国向け海上荷動きの減少を見込みますが、最新の状況に注意を払い、引き続き船隊の適正化や運航・配船効率の向上に取り組めます。

物流事業においては、国内物流・港湾事業では、コンテナターミナル取扱量はONE社及び中国船社荷量の増加により前期比で増加を見込みます。曳船事業の作業数及び倉庫事業の取扱量についても、前期と同水準を見込みます。国際物流事業では、フォワーディング事業における海上・航空輸送の需要は底堅く推移することを見込むものの、米国の関税政策や中東情勢に起因する市況の変動、それに伴う不確実性が継続する可能性も考えられます。海外の完成車物流事業は、輸送台数、保管台数ともに引き続き堅調に推移する見込みです。

近海事業では、バイオマス燃料の増加で全体の輸送量は前期を上回る見込みです。内航事業のフェリー輸送は、概ね前期並みの輸送量を見込みます。定期船輸送では、製紙関連貨物や飲料等加工食品の輸送は減少するものの、鋼材等の需要を取り込み、前期並みの輸送量を目指します。不定期船輸送では、鉄鋼メーカーの減産により一部専用船による原料輸送の需要減を見込むものの、全体では前期並みの輸送量を見込みます。

コンテナ船事業においては、中東情勢の変化に伴う地政学的リスクや、米国の関税政策などの影響で、事業環境は依然として不透明な状況が続いています。ONE社では情勢の変化を注視しつつ、需要に合わせた機動的な配船と効率的なオペレーションを継続し、着実な事業運営に努めます。

当社は、株主価値を最大化することを経営の重要課題として位置付け、最適資本構成を常に意識し、資本効率と財務の健全性を確保したうえで、規律を緩めることなく企業価値向上に必要な投資を促進し、キャッシュ・フローを踏まえて自己株式取得を含む株主還元を積極的に進めることで、中長期的な企業価値と株主利益の向上を図ることを基本方針としています。

この基本方針に基づき、当連結会計年度（2026年3月期）の配当金については2025年5月7日に公表しましたとおり、基礎配当1株当たり40円に追加配当1株当たり80円を加え、年間配当1株当たり120円（中間配当60円、期末配当60円）を予定しています。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	204,716	339,026
受取手形、営業未収金及び契約資産	113,917	115,516
原材料及び貯蔵品	38,308	35,384
繰延及び前払費用	23,848	22,755
その他流動資産	23,782	24,477
貸倒引当金	△1,197	△1,123
流動資産合計	403,375	536,036
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	389,939	378,879
建物及び構築物（純額）	9,455	9,755
機械装置及び運搬具（純額）	3,144	3,177
土地	15,565	16,022
建設仮勘定	63,806	60,057
その他有形固定資産（純額）	6,755	6,399
有形固定資産合計	488,666	474,291
無形固定資産		
その他無形固定資産	7,266	9,381
無形固定資産合計	7,266	9,381
投資その他の資産		
投資有価証券	1,230,101	1,079,060
長期貸付金	18,051	17,761
退職給付に係る資産	4,942	5,193
その他長期資産	58,946	59,405
貸倒引当金	△1,302	△1,267
投資その他の資産合計	1,310,739	1,160,153
固定資産合計	1,806,673	1,643,825
資産合計	2,210,049	2,179,862

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	69,222	70,017
短期借入金	51,412	49,866
未払法人税等	6,129	7,300
独占禁止法関連損失引当金	1,335	1,448
備船契約損失引当金	3,206	2,407
その他の引当金	5,040	2,534
その他流動負債	69,108	78,487
流動負債合計	205,455	212,062
固定負債		
社債	14,000	14,000
長期借入金	229,840	222,289
役員退職慰労引当金	37	38
株式給付引当金	2,655	1,900
特別修繕引当金	17,986	18,689
退職給付に係る負債	5,150	5,098
その他固定負債	57,473	52,598
固定負債合計	327,144	314,615
負債合計	532,599	526,677
純資産の部		
株主資本		
資本金	75,457	75,457
資本剰余金	32,495	39,059
利益剰余金	1,248,600	1,246,652
自己株式	△8,085	△7,689
株主資本合計	1,348,467	1,353,480
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,991	13,910
繰延ヘッジ損益	3,066	2,808
土地再評価差額金	4,576	4,569
為替換算調整勘定	277,190	239,797
退職給付に係る調整累計額	2,141	2,090
その他の包括利益累計額合計	299,966	263,175
非支配株主持分	29,015	36,529
純資産合計	1,677,449	1,653,185
負債純資産合計	2,210,049	2,179,862

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	267,609	244,918
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	218,005	204,704
売上総利益	49,603	40,213
販売費及び一般管理費	18,886	20,371
営業利益	30,717	19,842
営業外収益		
受取利息	1,086	1,148
受取配当金	813	1,104
持分法による投資利益	37,287	7,241
為替差益	6,753	—
その他営業外収益	601	723
営業外収益合計	46,542	10,217
営業外費用		
支払利息	1,697	2,239
為替差損	—	5,706
その他営業外費用	714	429
営業外費用合計	2,412	8,375
経常利益	74,846	21,684
特別利益		
固定資産売却益	2,226	6,043
関係会社株式売却益	0	2,994
その他特別利益	15	55
特別利益合計	2,242	9,093
特別損失		
固定資産除却損	0	57
その他特別損失	—	6
特別損失合計	0	64
税金等調整前四半期純利益	77,088	30,713
法人税、住民税及び事業税	3,600	3,204
法人税等調整額	606	△3,079
法人税等合計	4,206	125
四半期純利益	72,881	30,588
非支配株主に帰属する四半期純利益	338	640
親会社株主に帰属する四半期純利益	72,543	29,947

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
四半期純利益	72,881	30,588
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	438	1,021
繰延ヘッジ損益	△14	360
為替換算調整勘定	7,279	△3,889
退職給付に係る調整額	76	△61
持分法適用会社に対する持分相当額	67,612	△34,284
その他の包括利益合計	75,393	△36,853
四半期包括利益	148,274	△6,265
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	147,577	△6,835
非支配株主に係る四半期包括利益	697	570

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	11,771百万円	12,889百万円

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間（自2024年4月1日至2024年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	ドライ バルク	エネルギー 資源	製品物流	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高							
顧客との契約から生じる収益	86,168	24,720	150,429	2,423	263,741	—	263,741
その他の収益	2,142	977	717	30	3,867	—	3,867
外部顧客への売上高	88,311	25,697	151,146	2,453	267,609	—	267,609
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19	3	1,150	17,081	18,254	△18,254	—
計	88,330	25,701	152,297	19,535	285,864	△18,254	267,609
セグメント利益又は損失(△)	7,118	1,049	65,406	491	74,065	780	74,846

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない船舶管理業、旅行代理店業、不動産賃貸・管理業等が含まれています。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額780百万円には、セグメント間取引消去△21百万円と、特定のセグメントに帰属しない全社損益等802百万円が含まれています。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

当第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日至2025年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	ドライ バルク	エネルギー 資源	製品物流	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高							
顧客との契約から生じる収益	68,699	22,721	148,725	2,573	242,720	—	242,720
その他の収益	1,000	891	274	31	2,197	—	2,197
外部顧客への売上高	69,700	23,613	148,999	2,605	244,918	—	244,918
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16	562	1,389	14,869	16,838	△16,838	—
計	69,717	24,175	150,388	17,475	261,756	△16,838	244,918
セグメント利益又は損失(△)	△526	2,365	24,325	390	26,554	△4,870	21,684

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない船舶管理業、旅行代理店業、不動産賃貸・管理業等が含まれています。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△4,870百万円には、セグメント間取引消去△34百万円と、特定のセグメントに帰属しない全社損益等△4,835百万円が含まれています。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

なお、各セグメントの状況をより適切に表示させるため、一部の営業外収益及び営業外費用の配賦方法を変更しています。前第1四半期連結累計期間のセグメント情報につきましても、変更後の方法により表示しています。

3. 補足情報

最近における四半期ごとの業績の推移（連結）

2026年3月期

	第1四半期 2025年4月～ 2025年6月	第2四半期 2025年7月～ 2025年9月	第3四半期 2025年10月～ 2025年12月	第4四半期 2026年1月～ 2026年3月
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	244,918			
営業損益	19,842			
経常損益	21,684			
税金等調整前四半期純損益	30,713			
親会社株主に帰属する 四半期純損益	29,947			
	円	円	円	円
1株当たり四半期純損益	47.40			
	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	2,179,862			
純資産	1,653,185			

2025年3月期

	第1四半期 2024年4月～ 2024年6月	第2四半期 2024年7月～ 2024年9月	第3四半期 2024年10月～ 2024年12月	第4四半期 2025年1月～ 2025年3月
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	267,609	270,405	266,944	242,984
営業損益	30,717	30,423	31,104	10,609
経常損益	74,846	112,478	101,529	19,234
税金等調整前四半期純損益	77,088	112,488	108,409	21,986
親会社株主に帰属する 四半期純損益	72,543	110,675	101,492	20,672
	円	円	円	円
1株当たり四半期純損益	104.67	165.30	154.94	32.56
	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	2,145,937	2,080,802	2,275,953	2,210,049
純資産	1,665,254	1,614,064	1,740,318	1,677,449